

小松市教育委員会会議録

会議名	令和6年第12回小松市教育委員会定例会					
開会月日	令和6年10月15日(火)	場所	教育長室			
会議時間	(開会)午後3時30分～(閉会)午後4時5分					
休憩時間	①(休憩)午前・午後 時 分～(再開)午前・午後 時 分 ②(休憩)午前・午後 時 分～(再開)午前・午後 時 分					
委員の出席	教育長	山本 民夫	出席	委員	中惣 恭子	出席
	委員	村井 啓介	出席	委員	浅蔵 一華	出席
	委員	表 幹也	欠席	出席委員 3名 欠席委員 1名		
出席説明者	事務局長 長谷川 巖		出席	局次長兼教育庶務課長 東谷 勝美		出席
	学校教育課長 宮森 陸夫		出席	教育研究センター所長 中田 一宏		出席
	生涯学習課長 城下 浩介		出席	図書館長兼南部図書館長 田中 明子		出席
	ひとつものづくり科学館 副館長 宮島 浩典		出席	市立高校事務長 中川 久美子		出席
書記	教育庶務課事務員 二木 有希		出席			
傍聴者	0		名			
会議に付した議題	【議案】					
	・議案第26号 こまつ市民読書活動推進計画策定委員会設置要綱の制定について (図書館)					
	・議案第27号 こまつ市民読書活動推進計画策定委員の委嘱及び任命について (図書館)					
	【報告事項等】					
	・令和6年度小松市教育功労賞について(教育庶務課)					
	・寄附の受納について(学校教育課)					
	・部活動地域移行について(学校教育課)					
	・第一小学校教諭逮捕事案について(学校教育課)					

教育委員会報告

令和6年10月15日

【議案】

件名	議案第26号 こまつ市民読書活動推進計画策定委員会設置要綱の制定について
所管部課名	図書館
内容	今年度、こまつ市民読書活動推進計画を策定するに当たり、必要な事項について検討を行うため、こまつ市民読書活動推進計画策定委員会を設置する。委員の構成や任期等を規定する要綱を制定するもの。
教育委員等の意見	特になし
	議案第26号承認

件名	議案第27号 こまつ市民読書活動推進計画策定委員の委嘱及び任命について
所管部課名	図書館
内容	こまつ市民読書活動推進計画策定委員会設置要綱第2条の規定に基づき、各分野から8人に委嘱・任命し、こまつ市民読書活動推進計画策定に向けて作業を進めていく。任期については、委嘱・任命の日から推進計画策定完了まで。
教育委員等の意見	特になし
	議案第27号承認

【報告事項等】

件名	令和6年度小松市教育功労賞について
所管部課名	教育庶務課
内容	10月3日に小松市功労3賞選考委員会が開催され、2名を推薦する答申がなされ決定した。 松下 京子 … 俳句活動において、後進の指導・育成。俳文学を通して子どもたちの豊かな情操を養うことに貢献。 久木 義則 … 石川県全体の障害者支援・福祉政策に携わり、特別支援教育を牽引・尽力。地域福祉の発展に貢献。
教育委員の意見	特になし

件名	寄附の受納について
所管部課名	学校教育課
内容	本多良二氏より能美・小松の方言ノートの寄附があり、各小中学校へ配布予定。
教育委員の意見	特になし

件名	部活動地域移行について
所管部課名	学校教育課
内容	小松市は令和7年秋から運動部について休日部活動の地域移行を開始する。教員が希望する場合は、兼職兼業申請により休日の活動への参加が可能。
教育委員の意見	<p>【村井委員】 自身が教育委員となってから、時折部活動の地域移行の進捗について質問していたが、中間報告が無く、来年の秋から移行と聞くと唐突のように感じる。今まであまり情報が出ていなかったが、各団体や協会とのすり合わせはどうなっているか。</p> <p>【宮森学校教育課長】 昨年度、種目別協議会の全体協議会の場で地域移行の方向性について様々課題が出た。スポーツ協会にて、全種目の各協会とヒアリングを行い、種目ごとの課題を整理し、方向性を確認していたという経緯がある。</p> <p>【村井委員】 ガイドラインに示されていたので、地域移行になるとは感じていたがやはり唐突感があったので質問した。</p> <p>【宮森学校教育課長】 今年度はスポーツ協会・小松市役所スポーツ育成課・小松市教育委員会の3者で毎月定例会議を実施し、中体連等と意見を聞きながら進めてきた。</p> <p>【長谷川局長】 中間報告で進捗について報告すべきであった。</p> <p>【中惣委員】 他の市町の状況はどうか。</p> <p>【宮森学校教育課長】 加賀市は今年の夏を予定していたが、1年延び来年の夏から、新チームとなってから移行すると聞いている。金沢市は全種目に対し</p>

	<p>て調査をして進めていくとのこと。</p> <p>【中惣委員】 小松市は石川県の中でも先駆けて移行ということか。</p> <p>【宮森学校教育課長】 そうである。</p> <p>【浅蔵委員】 土日の部活動については全部地域移行ということか。</p> <p>【宮森学校教育課長】 土日の活動については学校から切り離すことになる。各種目によって土日の活動の頻度は異なってくる為、受け皿を今後整備していく予定。</p>
--	--

【教育委員からの意見・提言】

中惣委員	<p>9月27日に教育委員代表者会に吉原前職務代理者の代理として出席した。能登の教育委員の方々から、地震と豪雨に被災した子ども達の現状がいかに酷いか、報道では殆ど伝わっていないとお聞きした。同じ石川県民として、先生方には子ども達に状況を引き続き伝えてほしい。学ぶことのできる環境がある大切さについても継続して伝えてほしい。</p>
村井委員	<p>地域移行というのは大きな変化であり大きなチャンスである。様々な課題があり難航すると思うが、地域移行によって、学校の授業以外のプラスアルファのものが人生を豊かにするということを広めていけたらと考えている。</p>
浅蔵委員	<p>自身は伝統工芸士会に所属しており、伝統工芸士会には小学校4年生を対象に無料で九谷焼の絵付け体験ができるという事業がある。伝統工芸士という肩書を持つものが学校に行き指導し、最終的には焼き上げたお皿を持って帰ることができる。地元の伝統工芸に触れる機会を持っていただけたらと考える。</p>